

平成26年度対ボツワナ草の根・人間の安全保障無償資金協力

「セントラル地区マスペ小学校障がい児用特別学級建設計画」引渡式の実施

在ボツワナ日本国大使館

平成28年4月15日

平成28年4月8日、平成26年度草の根・人間の安全保障無償資金協力案件「セントラル地区マスペ小学校障がい児用特別学級建設計画」の引渡式が同小学校にて行われました。

本案件は、当国首都ハボロネから約365km北東に位置する、セントラル地区のマウンアトララ村において、公立小学校の敷地内に特別学級棟(約270平米)を建設したものです。被供与団体であるセントラル地区評議会パラペ地域支部に対して、92,079米ドルが供与され同棟が建設されたほか、児童の通学用として、ミニバス2台が当地NGO及び民間企業から寄贈されました。マウンアトララ村が位置するパラペ・セロウエ地域(約31,400平方km)には、特別学級を設けた学校はこれまで3校しかありませんでした。同村からは、最も近い学校へも約90km離れているため、障がいをもった子どもは一般学級に通うしかなく、中退者も出るなど、適切な教育の機会の提供が必要とされていました。本案件の実施により、同村及び周辺4村に住む障がい児40名の就学が可能となりました。

引渡式において、尾西雅博大使はスピーチを行い、「本案件の実施が、当国における障がい児教育の普及に寄与するだけでなく、遠隔地であっても特別学級の設置は可能であることを示す優良事例となるよう願っている」と述べました。これに対して、同村の人々や小学校の児童たちから謝意を表す歌や踊りが披露されたほか、主賓であるツォフワネ地方自治開発大臣をはじめとする出席者からも、感謝の意が述べられました。引渡式の様子は当地国営テレビのニュースにも取り上げられました。



特別学級棟の前で握手する、尾西大使、
ツォフワネ地方自治開発大臣、レファカエ校長



特別学級で学ぶ子どもたちと校長先生